

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6 年 6 月 20 日

記入例

青森市長

提出者

住所

青森市新町〇丁目〇番〇号

氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)

株式会社〇×△□

東北支店

支店長 〇〇 △△

押印は不要  
工場長・支店長等  
でも可

電話番号

□□□-△△△-△△△△

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社〇×△□ 青森作業場	産業廃棄物を実際に排出している青森市内の事業場名を記入
事業場の所在地	青森市新町〇丁目〇番〇号	
事業の種類	総合工事業	日本標準産業分類(中分類)を記入
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで	

産業廃棄物処理計画における目標値 各項目は、前年度に提出した処理計画書の第2面、3面、4面、5面の目標値のそれぞれの合計を記載します。

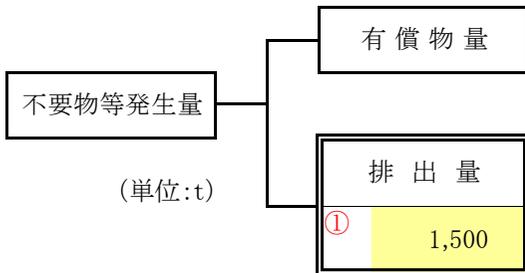
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,500 t	全処理委託量	1,120 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	300 t	優良認定処理業者への処理委託量	600 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	1,000 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	80 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	100 t

※事務処理欄

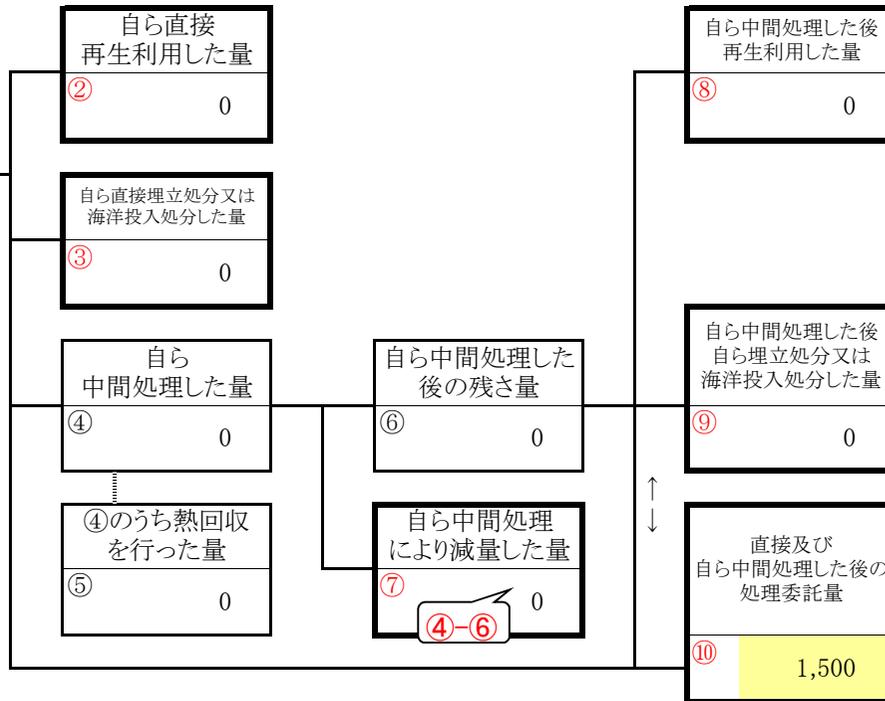
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： **がれき類**)

産業廃棄物の種類(品目)ごとに1枚ずつ作成してください。



項目	実績値
① 排出量	1,500
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	1,500
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫ 再生利用業者への処理委託量	1,500
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

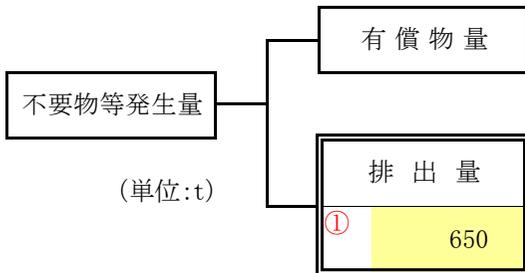


②、③、⑦、⑧、⑨、⑩、の総計が排出量①となります。

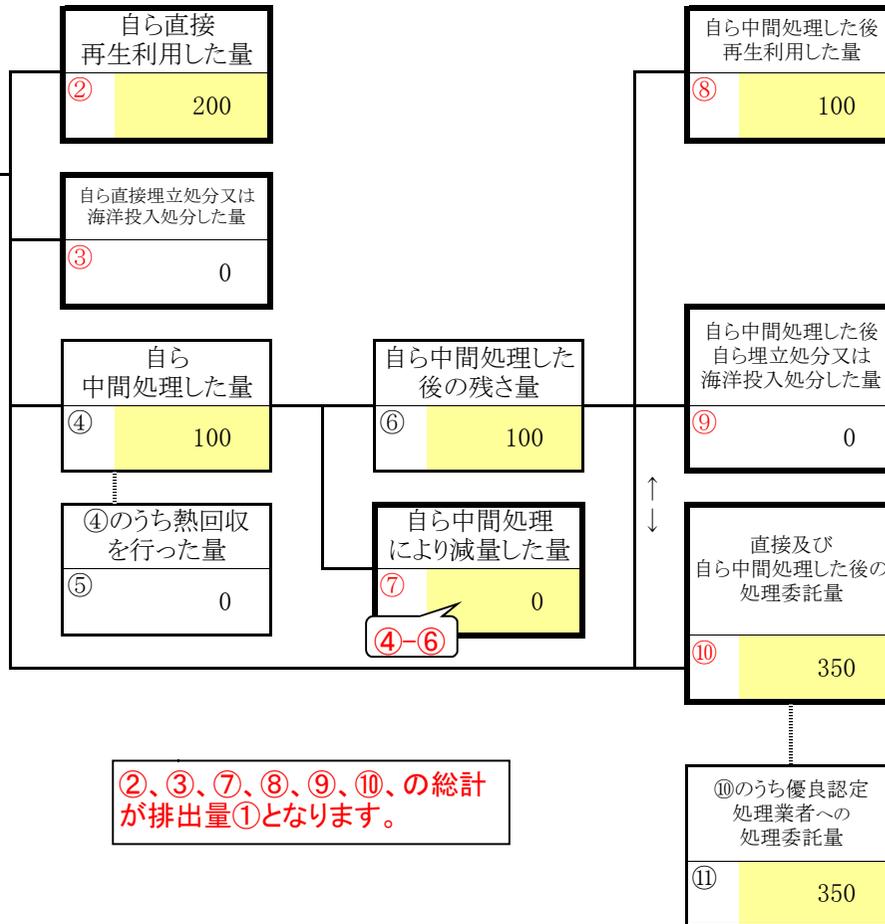
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： **金属くず**)

産業廃棄物の種類(品目)ごとに1枚ずつ作成してください。



項目	実績値
① 排出量	650
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	300
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	350
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	350
⑫ 再生利用業者への処理委託量	350
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

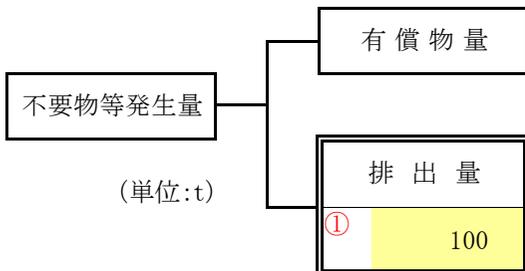


②、③、⑦、⑧、⑨、⑩、の総計が排出量①となります。

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： **木くず**)

産業廃棄物の種類(品目)ごとに1枚ずつ作成してください。



項目	実績値
① 排出量	100
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	45
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	55
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

自ら直接再生利用した量 ② 0

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 ③ 0

自ら中間処理した量 ④ 50

④のうち熱回収を行った量 ⑤ 0

自ら中間処理した後の残さ量 ⑥ 5

自ら中間処理により減量した量 ⑦ 45

自ら中間処理した後再生利用した量 ⑧ 0

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 ⑨ 0

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 ⑩ 55

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量 ⑪ 0

⑩のうち再生利用業者への処理委託量 ⑫ 0

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量 ⑬ 0

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 ⑭ 0

②、③、⑦、⑧、⑨、⑩、の総計が排出量①となります。

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときには、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

記入例

産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 6 月 20 日

青森市長 様

提出者  
住所

青森市新町〇丁目〇番〇号

氏名 (法人にあつては名称及び代表者氏名)

株式会社〇×△□

東北支店

支店長 〇〇 △△

電話番号

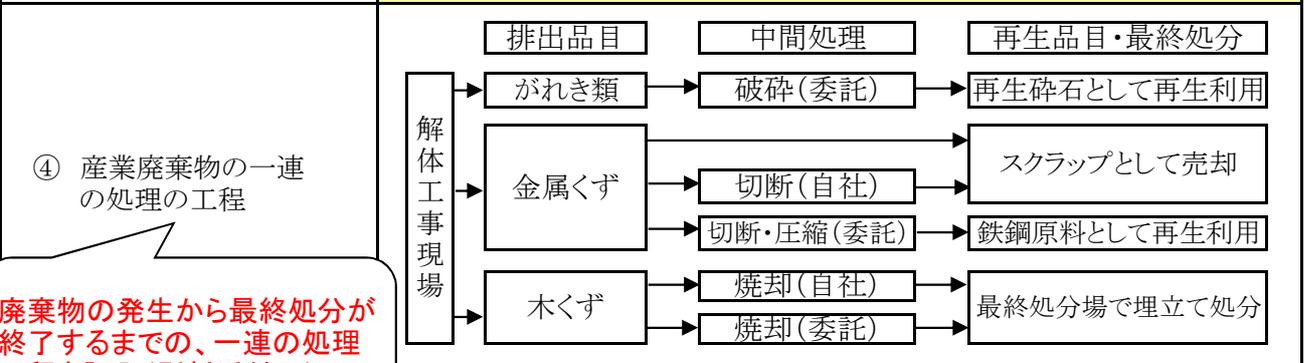
□□□-△△△-△△△△

押印は不要  
工場長・支店長等  
でも可

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社〇×△□ 青森作業場	産業廃棄物を実際に排出している青森市内の事業場名を記入
事業場の所在地	青森市新町〇丁目〇番〇号	
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで	

当該事業場において現に行っている事業に関する事項		日本標準産業分類(中分類)を記入
① 事業の種類	総合工事業	
② 事業の規模	1億円	業種に応じた事業規模が分かる前年度の実績を記入(第6面3(2)を参照)
③ 従業員数	120人	正社員以外も含む

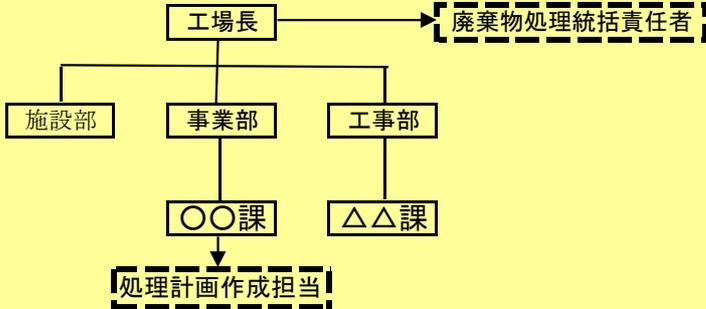


廃棄物の発生から最終処分が終了するまでの、一連の処理工程を記入(別紙添付可)

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



廃棄物処理の統括責任者、処理計画作成部署、教育、研修、情報公開等が分かる組織図を記載してください。  
※記載された情報は公表されますので、氏名など個人情報等は記載しないで下さい。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	【前年度(令和 5 年度)実績】			
	産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず	木くず
	排出量	1,500 t	650 t	100 t
①現状	(これまでに実施した取組)			
	現在実施している取り組み内容を具体的に記載			
②計画	【目 標】			
	産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず	木くず
	排出量	1,000 t	800 t	150 t
	(今後実施する予定の取組)			
	計画期間内に取り組み、または将来的に実施する予定のある取り組み内容について具体的に記載			

産業廃棄物実施状況報告書(第2面)の実績値(①)を記入

計画期間における目標量を記載

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

(第3面)

・自社で直接再生利用した産業廃棄物  
・自社で中間処理した後に自社で再生

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

産業廃棄物実施状況報告書(第2面)の実績値(②+⑧)を記載

【前年度(令和 5 年度)実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず	木くず
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	300 t	0 t

①現状

(これまでに実施した取組)

現状の実績値を記載する欄

②計画

【目 標】

産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず	木くず
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	500 t	0 t

(今後実施する予定の取組)

計画の実績値を記載する欄

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

産業廃棄物実施状況報告書(第2面)の実績値(⑤)を記入

【前年度(令和 5 年度)実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず	木くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	45 t

①現状

(これまでに実施した取組)

現状の実績値を記載する欄

産業廃棄物実施状況報告書(第2面)の実績値(⑦)を記入

②計画

【目 標】

産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず	木くず
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	100 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	90 t

(今後実施する予定の取組)

計画の実績値を記載する欄

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度(令和 5 年度)実績】			
	産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目 標】			
	産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物実施状況報告書(第2面)の実績値(③+⑨)を記入

①現状

②計画

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(令和 5 年度)実績】			
	産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず	木くず
	全処理委託量	1,500 t	350 t	55 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	350 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	1,500 t	350 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)			

産業廃棄物実施状況報告書(第2面)の実績値(上から⑩、⑪、⑫、⑬、⑭の順)を記入

①現状

(第5面)

②計画	<b>【目標】</b>			
	産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず	木くず
	全処理委託量	1,000 t	300 t	60 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1,000 t	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	1,000 t	300 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	50 t
(今後実施する予定の取組)				
※事務処理欄				

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。